

# 伊賀市まちづくりアンケート (市民意識調査) 調査結果

【問い合わせ】 総合政策課 ☎ 22-9620 FAX 22-9672 ✉ sougouseisaku@city.iga.lg.jp



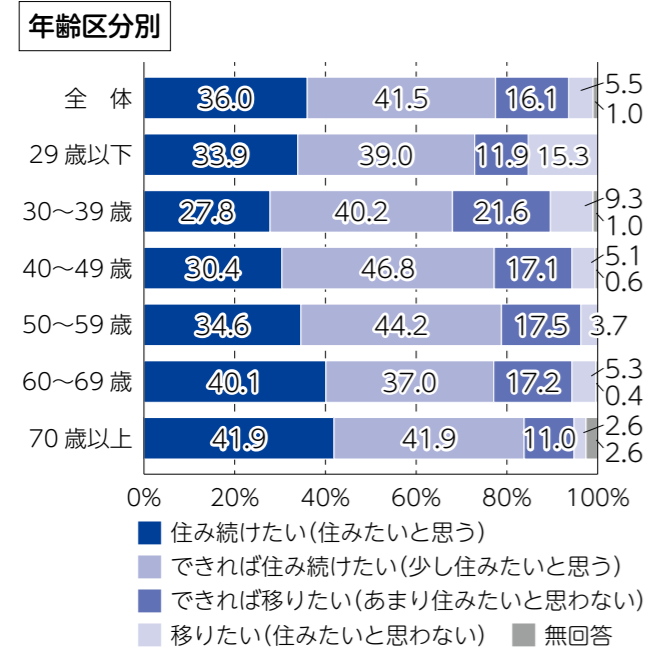
## 伊賀市まちづくりアンケートとは？

このアンケート調査は、第2次伊賀市総合計画第3次基本計画の各施策に対する市民の皆さんの「満足度」、「参画度」などを把握することで、現在行っている施策の分析を行うものです。  
市民の皆さんが普段の生活で感じていることを今

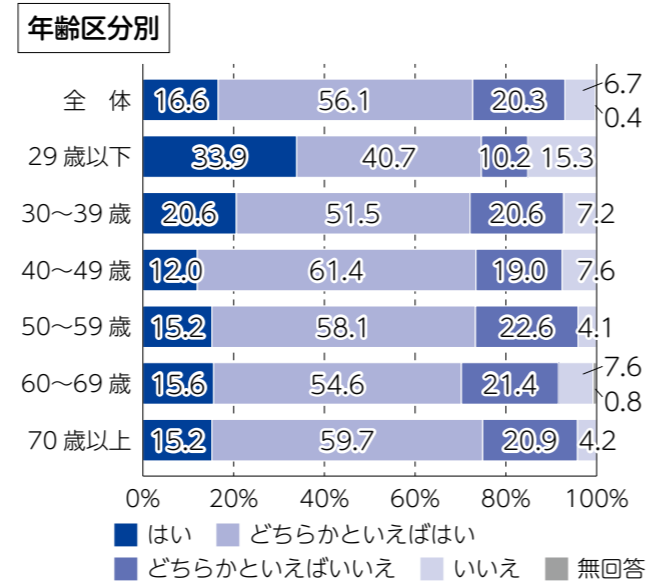
後のまちづくりの参考とします。  
【調査対象】 市内在住、在勤、在学、または市外に在住で伊賀市に関わりがある満18歳以上の人  
【調査期間】 2月10日～3月3日  
【回答者数】 990人

## 定住意識

Q. 伊賀市に将来もずっと住み続けたいですか。または、住みたいと思いますか。



Q. 伊賀市は住み心地がよいと思いますか。



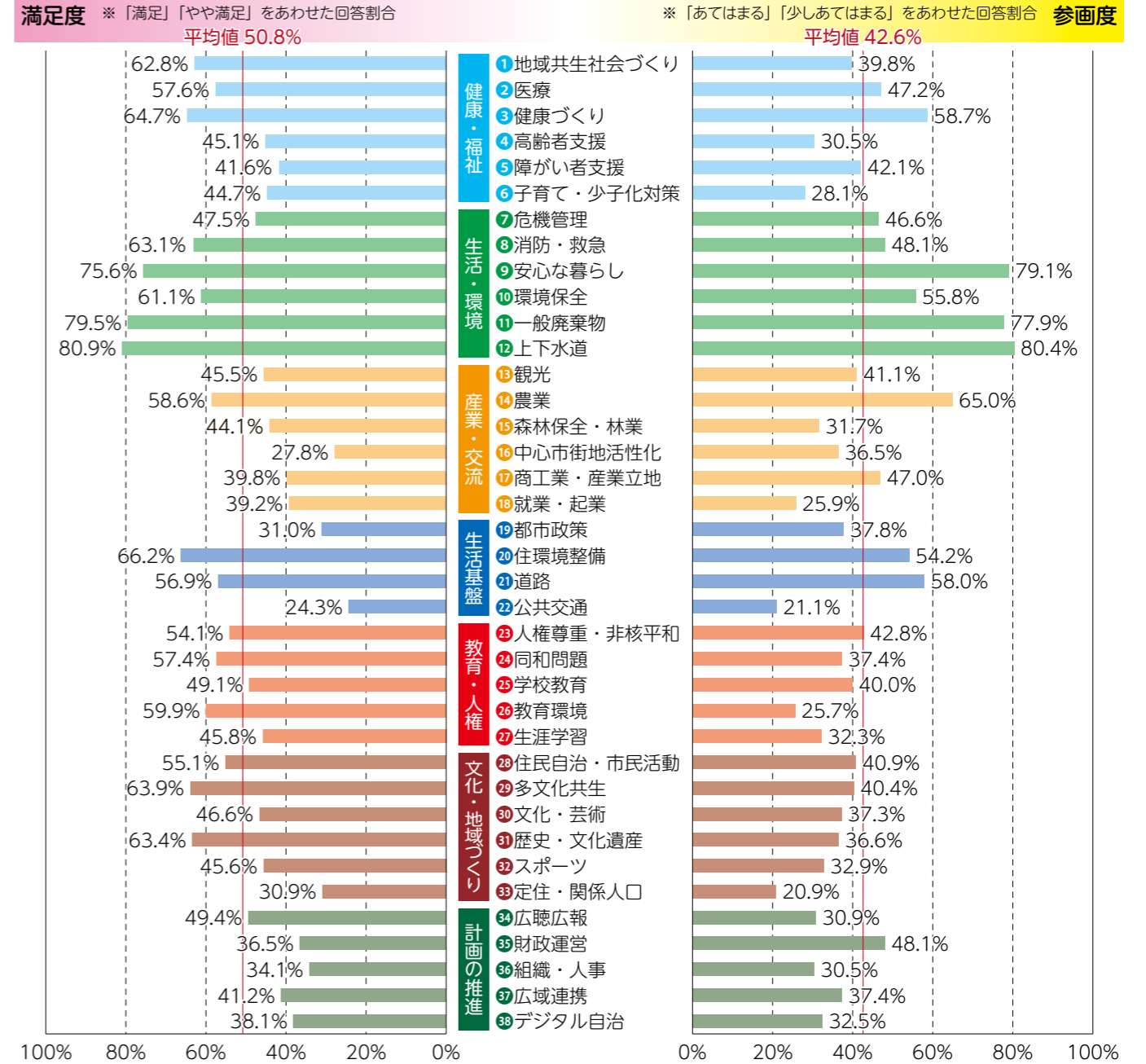
約8割が「住み続けたい」と回答  
若者に選ばれるまちづくりを

「伊賀市に将来も住み続けたいか（または、住みたいと思うか）」といった定住意識について、約78%の人が「住み続けたい（住みたいと思う）・できれば住み続けたい（少し住みたいと思う）」と考えており、定住意識が高い結果となっています。また、「伊賀市は住み心地がよいと思うか」という質問については、約73%の人が「住み心地がよい・どちらかといえば住み心地がよい」と感じており、生活しやすいまちだと感じている人が多いことがわかります。

また、年齢区分別の結果では、「住み続けたい（住みたいと思う）」と考える人の割合に注目すると、30～39歳が68%と一番低く、次いで29歳以下が約73%、その他の年齢ではおおむね75%を超えており、29歳以下は前年度より16ポイント高い結果となっています。引き続き、若い人たちの地域への誇りと愛着の醸成に取り組めます。

## 38 施策の満足度と参画度

第3次基本計画では、効果的に計画を推進するために38の施策を掲げています。



満足度・参画度ともに「生活・環境」分野で最高 今後も市民参画度の向上を推進

満足度では「生活・環境」分野が高く、次いで「教育・人権」分野、「文化・地域づくり」分野で比較的高い結果となっています。一方で、「生活基盤」分野の「(22) 公共交通」がもっとも低くなっており、分野としては「生活基盤」分野、「産業・交流」分野、「計画の推進」分野で低い結果となっています。前年度と比較すると、全体平均で若干の上昇傾向にあります。

参画度も同様に、「生活・環境」分野で高い結果となっています。一方、「文化・地域づくり」分野、「計画の推進」分野で比較的低い結果となっています。

前年度と比較すると、全体平均で若干の低下傾向となっています。引き続き、参画度の向上に取り組む必要があります。